

2019年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月10日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 安川電機

コード番号 6506 URL <https://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小笠原 浩

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 林田 歩 TEL 03-5402-4564

四半期報告書提出予定日 2018年10月11日 配当支払開始予定日 2018年11月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年2月期第2四半期の連結業績（2018年3月1日～2018年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2019年2月期第2四半期	248,244	—	30,510	—	30,590	—	26,063	—
2018年2月期第2四半期	229,114	22.1	27,800	101.2	27,457	99.6	21,095	145.0

（注）包括利益 2019年2月期第2四半期 20,854百万円（－％） 2018年2月期第2四半期 25,509百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第2四半期	98.58	—
2018年2月期第2四半期	79.23	—

（注）1. 当社は、前連結会計年度より決算期を3月20日から2月末日に変更しました。これに伴い、当第2四半期連結累計期間（2018年3月1日から2018年8月31日）は、比較対象となる前第2四半期連結累計期間（2017年3月21日から2017年9月20日）と対応する期間が異なることから、対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2019年2月期第2四半期	463,503	242,852	51.8
2018年2月期	441,249	238,626	53.5

（参考）自己資本 2019年2月期第2四半期 240,158百万円 2018年2月期 235,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2019年2月期	—	26.00	—	—	—
2019年2月期（予想）	—	—	—	26.00	52.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年2月期の連結業績予想（2018年3月1日～2019年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	498,000	—	59,000	—	60,000	—	47,000	—	177.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注）前連結会計年度は、決算期の変更により2017年3月21日から2018年2月28日までとなっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

決算に関する詳細情報として、当社ウェブサイト（<https://www.yaskawa.co.jp>）に本日公表の決算補足説明資料を掲載しております。併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期2Q	266,690,497株	2018年2月期	266,690,497株
② 期末自己株式数	2019年2月期2Q	2,876,291株	2018年2月期	674,399株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期2Q	264,382,864株	2018年2月期2Q	266,248,949株

(注) 期末自己株式数は、「株式給付信託（BBT）」および「株式給付信託（J-ESOP）」が保有する当社株式（2019年2月期2Q 284,800株、2018年2月期 290,100株）が含まれております。また、「株式給付信託（BBT）」および「株式給付信託（J-ESOP）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2019年2月期2Q 287,872株、2018年2月期2Q 52,914株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2018年10月11日（木）に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 資産、負債および純資産の状況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①2019年2月期 第2四半期連結累計期間(2018年3月1日～2018年8月31日)の経営成績

当社は、前連結会計年度より事業年度の末日を従来の3月20日から2月末日に変更いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間(2018年3月1日から8月31日まで)と比較対象となる前第2四半期連結累計期間(2017年3月21日から9月20日まで)の期間が異なるため、経営成績の概況における前年同期比増減については記載しておりません。

当期における当社グループの業績は、好不調の市場が混在する中、総じて底堅く推移しました。スマートフォン関連の需要に一服感がみられたことに加え、期後半から半導体関連の設備投資が弱含む状況となりました。その一方で、生産設備の自動化・省人化を目的とした設備投資が継続したほか、EV(電気自動車)を含む自動車関連の需要が高い水準で推移いたしました。これらの結果、売上高および利益は、2018年4月12日に公表いたしました連結業績予想に対しては未達だったものの、上期業績として過去最高となりました。

なお、当期の当社グループを取り巻く経営環境は以下のとおりです。

- 日本： 製造業全般において、生産設備の自動化・省人化を目的とした設備投資が継続しました。特に自動車関連においては、生産効率化に向けた更新需要を受け、設備投資が活発に行われました。
- 米国： 足元の経済活動が良好な中、オイル・ガス関連などの需要は高い水準で推移しましたが、半導体関連の需要は伸び悩みました。
- 欧州： 自動車関連を中心とした製造業の設備投資に加え、大型風力発電などの環境エネルギー分野の投資が高水準で推移しました。
- 中国： スマートフォン関連需要に一服感があったことに加え、米中貿易摩擦の影響により製造業全般で設備投資に慎重な姿勢が見られました。その一方で、EV関連などの成長市場が堅調に推移しました。また、環境規制強化に伴う省エネ化への需要も底堅く推移しました。

中国除くアジア：韓国を中心に有機EL関連の需要が弱含んだものの、自動車向けなどの設備投資需要は堅調に推移しました。

この結果、当期の業績は以下のとおりです。

	2018年2月期 第2四半期累計期間	2019年2月期 第2四半期累計期間	前年同期比
売上高	2,291億14百万円	2,482億44百万円	—
営業利益	278億0百万円	305億10百万円	—
経常利益	274億57百万円	305億90百万円	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	210億95百万円	260億63百万円	—
米ドル平均レート	111.45円	109.34円	△2.11円
ユーロ平均レート	124.41円	129.87円	+5.46円

②セグメント別の状況

当社グループでは、事業内容を4つのセグメントに分けています。
当期の各セグメントの業績動向は以下のとおりです。

モーションコントロール	売上高	1,135億66百万円	(前年同期比 -)
	営業損益	222億3百万円	(前年同期比 -)
<p>モーションコントロールセグメントは、ACサーボモータ・コントローラ事業とインバータ事業で構成されています。</p> <p>ACサーボモータ・コントローラ事業においては中国を中心に売上が伸び悩んだものの、インバータ事業の販売がグローバルで好調に推移したことから、セグメント全体の業績は底堅く推移しました。</p> <p>[ACサーボモータ・コントローラ事業]</p> <p>製造業における生産設備の高度化・自動化が加速する中、リチウムイオン電池向けなどの成長市場を的確に捉えました。その一方で、中国を中心にスマートフォン関連需要に一服感がみられたほか、半導体関連の設備投資が弱含んだことから、売上は伸び悩みました。</p> <p>[インバータ事業]</p> <p>中国での環境規制強化に伴う省エネ化への需要や、米国におけるオイル・ガス関連需要が高い水準で推移したことから、グローバルで販売は好調に推移しました。</p>			
ロボット	売上高	882億5百万円	(前年同期比 -)
	営業損益	92億35百万円	(前年同期比 -)
<p>国内外からの旺盛な需要を受け、売上高は好調に推移しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溶接・塗装ロボットなど自動車関連向けの販売は、堅調な設備投資需要を受け、日本・欧州・中国などで好調に推移しました。 ・一般産業分野については、生産設備における自動化・省人化のニーズが継続したものの、スマートフォン関連需要に一服感がみられたことから、売上は伸び悩みました。 			
システムエンジニアリング	売上高	277億8百万円	(前年同期比 -)
	営業損益	△5億0百万円	(前年同期比 -)
<p>売上高は底堅く推移し、営業損益は環境・エネルギー分野を中心とした構造改革を進めたことにより、改善しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄鋼プラントシステム・社会システム分野においては、一部の国内プロジェクトで進捗影響があったものの、設備の更新ニーズを的確に捉え、売上高は底堅く推移しました。 ・環境・エネルギー分野では、米国市場における太陽光発電用パワーコンディショナ関連の販売が低迷した一方で、大型風力発電関連の売上が欧州で伸長しました。 			
その他	売上高	187億63百万円	(前年同期比 -)
	営業損益	5億73百万円	(前年同期比 -)
<p>その他セグメントは、情報関連事業および物流サービス事業などで構成されています。</p> <p>子会社の新規連結化や、EV関連の量産立ち上げによる一時的な影響により、売上高・営業利益は伸長しました。</p>			

（2）資産、負債および純資産の状況

①資産 4,635億3百万円（前連結会計年度末比 222億53百万円増加）

現金及び預金、たな卸資産等の増加により、流動資産が前連結会計年度末に比べ151億71百万円増加しました。また、有形固定資産や無形固定資産の増加により、固定資産が前連結会計年度末に比べ70億81百万円増加しました。

②負債 2,206億51百万円（前連結会計年度末比 180億27百万円増加）

流動負債が前連結会計年度末に比べ67億18百万円増加したことに加え、長期借入金等の増加により、固定負債が前連結会計年度末に比べ113億9百万円増加しました。

③純資産 2,428億52百万円（前連結会計年度末比 42億25百万円増加）

主な要因は以下のとおりです。

- ・株主資本が95億70百万円増加しました。これは利益剰余金の増加や自己株式取得等によるものです。
- ・その他の包括利益累計額が52億77百万円減少しました。これはその他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期（2018年3月1日～2019年2月28日）の連結業績予想について、第2四半期連結累計期間の実績および、半導体需要の減速や中国市場の弱含みなど直近の受注動向等を踏まえ、2018年4月12日に公表しました予想値を以下のとおり修正します。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	510,000	65,500	67,000	50,000	188.81
今回修正予想 (B)	498,000	59,000	60,000	47,000	177.77
増減額 (B)－(A)	△12,000	△6,500	△7,000	△3,000	－
増減率 (%)	△2.4	△9.9	△10.4	△6.0	－
(ご参考) 前期実績 (2018年2月期)	448,523	54,126	55,300	39,749	149.35

(注) 1. 上記前回発表予想の1株当たり当期純利益は2018年7月12日に公表しました予想値となります。

2. 上記前期実績は決算期変更の経過期間（2017年3月21日～2018年2月28日）のものであり、2019年2月期とは対象期間が異なります。

なお、2018年9月1日から2019年2月28日までの期間における為替レートは、平均110.0円/ドル、平均130.0円/ユーロ、平均16.50円/元、平均0.100円/ウォンを想定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,279	51,341
受取手形及び売掛金	142,039	141,901
商品及び製品	58,640	64,342
仕掛品	19,311	19,235
原材料及び貯蔵品	22,100	24,616
その他	23,320	20,591
貸倒引当金	△2,695	△1,860
流動資産合計	304,995	320,167
固定資産		
有形固定資産	67,956	74,744
無形固定資産		
のれん	2,931	2,572
その他	19,108	20,719
無形固定資産合計	22,039	23,291
投資その他の資産		
その他	46,637	45,538
貸倒引当金	△379	△238
投資その他の資産合計	46,258	45,299
固定資産合計	136,254	143,336
資産合計	441,249	463,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	84,795	82,688
短期借入金	22,498	24,746
役員賞与引当金	59	29
その他	54,319	60,927
流動負債合計	161,673	168,392
固定負債		
長期借入金	8,977	18,532
役員退職慰労引当金	202	230
株式給付引当金	367	340
退職給付に係る負債	25,917	25,228
その他	5,484	7,928
固定負債合計	40,949	52,259
負債合計	202,623	220,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,562	30,562
資本剰余金	27,717	27,693
利益剰余金	164,360	185,100
自己株式	△1,338	△12,484
株主資本合計	221,301	230,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,961	8,945
繰延ヘッジ損益	13	19
為替換算調整勘定	4,126	672
退職給付に係る調整累計額	△538	△350
その他の包括利益累計額合計	14,563	9,286
非支配株主持分	2,761	2,694
純資産合計	238,626	242,852
負債純資産合計	441,249	463,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
売上高	229,114	248,244
売上原価	151,593	164,904
売上総利益	77,521	83,340
販売費及び一般管理費	49,720	52,829
営業利益	27,800	30,510
営業外収益		
受取利息	115	168
受取配当金	243	306
持分法による投資利益	379	624
補助金収入	117	566
償却債権取立益	95	—
その他	84	93
営業外収益合計	1,036	1,759
営業外費用		
支払利息	303	284
為替差損	787	1,270
その他	288	124
営業外費用合計	1,379	1,679
経常利益	27,457	30,590
特別利益		
固定資産売却益	7	33
投資有価証券売却益	0	84
関係会社出資金売却益	0	—
関係会社清算益	7	—
子会社化関連損益	—	2,963
その他	0	4
特別利益合計	15	3,085
特別損失		
固定資産除売却損	68	60
投資有価証券評価損	91	353
関係会社株式評価損	7	—
減損損失	14	0
その他	0	0
特別損失合計	182	414
税金等調整前四半期純利益	27,291	33,261
法人税、住民税及び事業税	7,285	6,871
法人税等調整額	△1,395	117
法人税等合計	5,889	6,988
四半期純利益	21,401	26,272
非支配株主に帰属する四半期純利益	306	208
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,095	26,063

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
四半期純利益	21,401	26,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,430	△1,882
繰延ヘッジ損益	△94	5
為替換算調整勘定	2,585	△3,311
退職給付に係る調整額	131	154
持分法適用会社に対する持分相当額	55	△383
その他の包括利益合計	4,107	△5,417
四半期包括利益	25,509	20,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,154	20,786
非支配株主に係る四半期包括利益	354	67

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。